

資料 1

大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会でのご意見

NO.	カテゴリ	ご意見内容	回答内容	構想書へ反映
01-01	01検討工程	住民説明会の規模	対象は市民全体として幅広く設定予定。 案内は5月の広報誌に掲載し、ホームページにも掲載予定。 内容については第1回および第2回の大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会にて委員から受けた意見も含めて説明する。 特に移転候補地の選定経緯、これからの病院のあり方について説明を行いたいと考えている。 想定人数としては100名程度ではないかと想定しているが、まだ把握できていない。	
01-02	01検討工程	新病院整備にあたっての他自治体への協力依頼	検討していく。	
02-01	02医療機能	新病院のソフト面の強化内容	がん治療については従来からの放射線治療・化学療法・外科治療を継続しながら、緩和ケアを実施する体制を構築する。 救急医療については従来から24時間365日対応を謳っていたが、患者を断っていたところもあったが、これからは医師の体制強化を進んでおり、応需率の向上を目指していく。特に心臓領域については医師の確保はできており、脳領域についても奈良医大にも相談して今後確保見込み。	
02-02	02医療機能	医師の働き方改革と救急の24時間365日対応のバランスのとり方	2次救急輪番の中で近隣病院とも協力しながら、当院だけで賄いきれない部分については補完しあいながら進めていきたい。	
02-03	02医療機能	脳神経外科領域の紹介に対する対応の改善	（現在は脳神経外科領域ということだけで電話で断られているが、まずは診て病院から他院への紹介を行ってほしい、というご意見） 対応の改善を図るとともに、当院でも対応できるような医師の確保も進めていく。	
02-04	02医療機能	想定外来患者数の設定の考え方（1日あたり現行800人、新病院想定700人）	地域医療支援病院を目指す中で紹介患者を中心に受け入れていくことを考慮し、減少設定としているが、患者を断っていくというよりも紹介患者を中心に受け入れていくことで、自然とこのくらいの数字になるのではないかと見込んでいる。 また今後は入院受入れを中心とした病院づくりも検討していきたい。（地域の医療機関との役割分担）	○ (p25)
02-05	02医療機能	訪問看護の継続確認	移転を機に廃止するようなことは現時点では考えていない。開業医の後方支援としての訪問看護の必要性は感じているので、継続に向けて検討していきたい。	○ (p24)
02-06	02医療機能	街の相談室としての機能	介護相談については市側の機能だとも考えているが、病院がその機能の支援をしていくことも必要と考える。	
02-07	02医療機能	認知症患者への対応	現在は精神科医の配置がないため対応が難しいところもあるが、医療機能としては検討していきたい。	○ (p20)
03-01	03建物整備	新病院への交通アクセスの整備方針	駐車場を確保するだけでなく、大和高田市ともコミュニティバス等の公共交通機関の利用促進の策も練っていきたい。	○ (p28)
03-02	03建物整備	新興感染症に対するハード整備	建物としてどのような工夫ができるかについて検討していく。	○ (p28)
03-03	03建物整備	JR高田駅からのアクセス	まちづくりの方で開発事業の一環として検討している内容ではあるが、デッキを活用するなど改札を出てそのまま上下移動せずに病院に行けるような工夫も考えていきたい。	○ (p28)
03-04	03建物整備	高田東高校の候補地としての検討	高田東高校については市街化調整区域のため200床未満でしか整備できないことと、ハザードマップ上で周辺が浸水地域とされているため、候補から外した。	